

6-2 事業活動報告交流会

本協会では、全国の大学関係者に公益目的事業について理解の普及を拡大するため、事業活動報告交流会を12月15日、オンラインで実施し、18大学2賛助会員の50名が参加した。

アンケート結果では、15名(教員7名、職員7名、賛助会員1名)全員から、「参考になった」との評価であった。以下にアンケートの記述について、特徴的な内容を報告する。

<教員>

- ・ いつも時機に合ったトピックを取り上げてくださってありがたく思っています。
- ・ SDGs オンラインプラットフォームに関心があります。今年のゼミではSDGsをテーマにし、来年も関連テーマを取り上げる予定だからです。AI活用に関する知見も大変参考になりました。
- ・ 授業その他において非常に参考になりました。

<職員>

- ・ 私情協の活動内容についてとても参考になりました。
- ・ オンラインでの開催は一方通行になりがちで運営が難しい面があると思いますが、今後とも継続していただければ大変ありがたいと思います。

<賛助会員>

- ・ はじめて参加いたしました。日本の競争力を向上するための今後の大学教育の在り方や生成系 AI に関する取り組みなど、参考になるお話をたくさん聞かせていただき感謝申し上げます。

また、令和6年度12月に開催する場合に希望する週の意見をたずねたところ、1週目6名、2週目3名、3週目2名、4週目1名であり、5割が1週目の金曜日であった。

2023年(令和5年)度事業活動報告交流会開催要項

日程：令和5年12月15日(金)13:30~17:00

会場：アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)からZoom配信

1. 会長挨拶(向殿 政男氏)

2. 情報提供：「学びの個別最適化、質向上の課題と対応(生成AI含む)を考える」
(井端事務局長)

3. 事業別報告(向殿会長、井端事務局長で説明)

(1) 教育・学修方法の改善に向けた活動

- ・ 問題発見・解決型教育等(PBL)の研究
(分野連携アクティブ・ラーニング対話集会、分野横断フォーラム型実験授業、思考力等の外部点検評価・助言モデル構想)

(2) 情報教育の改善充実に関する活動

(情報活用教育コンソーシアムの活動、産学連携共創活動「SDGsサイバーフォーラムコモンズ構想」の研究、データサイエンス・AI教育のプラットフォーム)

(3) 大学連携・産学連携による教育支援等の振興・推進活動

- ・ 授業目的公衆送信補償金制度に対する課題提起
- ・ 産学連携支援事業
(学生による社会スタディ、大学教員の企業研修、産学連携人材ニーズ交流会)

(4) 情報環境の整備充実に向けた活動

- ・ 情報化関係補助金予算の要望と概算要求
- ・ 私立大学情報化投資額調査
- ・ 学修ポートフォリオシステムの参考指針

(5) 教職員の職能開発の活動

- ・ ICT利用教育改善研究発表会
- ・ 教育イノベーション大会
- ・ 短期大学教育改革ICT戦略会議
- ・ 大学職員情報化研究講習会
- ・ 大学情報セキュリテ研究講習会
- ・ FD情報通信技術研究講習会など

(6) 参加者との意見交換